



⑨ 動植物公園(上:昭和45年頃の豊橋子供自然公園、下:平成23年誕生のマーラ) ① 市庁舎(上:市制施行当時、下:現在) 手筒花火(左:昭和30年代、右:現在)。450年以上も続く伝統花火は、今も変わらぬ迫力です



今昔写真で振り返る市制施行 110 周年

問い合わせ：広報広聴課 (☎ 51・2164)



ホームページ
QRコード

豊橋市は、明治39年8月1日に全国で62番目の市として誕生しました。当時の面積は19.69km²、人口は37,635人でしたが、現在は面積約13倍・人口約10倍となり、東三河の中核都市として着実に発展を続けています。今回の特集では、豊橋市の110年の軌跡を辿りながら、今昔交えた写真とともに振り返ります。

豊橋市110年の軌跡

明治 39年 市制施行・人口3万7635人 ①

大正 14年 市内電車開通 ②

昭和 4年 国鉄豊橋駅西駅竣工

5年 全国特産品博覧会開会

6年 公会堂竣工

7年 市立豊橋病院開院

20年 豊橋大空襲 ③
23年 市消防本部・消防署設置
24年 競輪場・陸上競技場開場
25年 豊橋民衆駅営業開始
26年 小学校完全給食開始
29年 豊橋産業文化大博覧会開催
30年 豊橋動物園開園

30年 第1回豊橋まつり開催 ⑤
34年 二川町・石巻村・高豊村・老津村・前芝村を合併、双和村(現賀茂地区・杉山村を合併(人口20万人突破)

34年 伊勢湾台風襲来 ⑥
36年 吉田大橋開通

39年 豊橋公園内に市体育館完成

39年 三河港が重要港湾に指定

40年 東海道新幹線開通

豊川放水路完成

43年 市民プールオープン

45年 豊川用水全面通水

45年 豊橋ステーションビル完成 ⑧
豊橋子供自然公園(現動

③ 札木通り(左:大正15年7月に設置された街路灯、右:昭和20年の大空襲後)



⑮ 広小路通り(左:戦後、右:平成24年に復活した歩行者天国)



② 市電(上:昭和30年代、下:現在)。ほつトラムも登場しました



⑧ 豊橋駅(上:昭和45年に完成した豊橋ステーションビル、下:現在)



⑤ 豊橋まつり(左:昭和37年 第9回、右:平成26年 第60回)。今では約2万人が総おどりに参加します





13 市制施行100周年(上:記念式典、下:トヨッキー誕生)

吉田城(左:昭和時代、右:現在)。吉田城から見る風景は変わっても、外から見る吉田城は今でも市のシンボルの一つとして風格を残しています

12 二川宿(上:大正時代の二川宿本陣馬場家、下:平成27年11月開館の駒屋)



16 三河港(左:昭和54年 第1回港まつり、右:現在の三河港に陸揚げされた車)

6 昭和30年の町村合併祝賀会

4 豊橋産業文化大博覧会

27年	26年	25年	24年	23年	22年	20年	18年	17年	14年	13年	11年	10年	8年	5年	3年	平成	63年	58年	56年	55年	54年	50年	49年	47年													
商家「駒屋」開館	三河港重要港湾指定50周年 くすのき特別支援学校開校	「プラットフォーム」オープン	穂の国とよはし芸術劇場 復活	豊橋ひろこうじ歩行者天国	隊 DOBE デビュー	ええじゃないか豊橋伝播	アジアゾウ「マール」誕生	いっぷーオープン	こども未来館ここにこ開館	保健所・保健センター「ほ いっぷー」オープン	人口37万人突破	JR二川駅新駅舎完成	愛・地球博開催	市制施行100周年	トヨッキー誕生	こども未来館ここにこ開館	保健所開設	中核市へ移行(全国22番目)	豊橋コンテナターミナル完成	豊橋駅東口駅前広場完成	市役所新庁舎(現東館)完成	人口35万人突破	二川宿本陣資料館開館	地下資源館開館	港大橋完成	中央図書館開館	自然史博物館開館	市民球場開場	資源化センター完成	市役所新庁舎(現西館)完成	人口30万人突破	美術博物館開館	市民球場開場	530運動実践活動スタート ゴミゼロ	視聴覚教育センター完成	国際貿易港として豊橋港開港	物園)開園
12	16	15	14	9	13	8	1	12	11	1	10	9																									

14 デビュー当時のええじゃないか豊橋伝播隊DOEE

10 昭和50年にスタートした530運動実践活動

鬼祭(上:昭和10年代、下:現在)。国指定重要無形文化財です



11 市民球場(上:昭和55年完成時、下:現在)。プロ野球公式戦を毎年開催しています

7 上:明治39年頃の豊橋、下:現在の吉田大橋周辺の祇園祭打上花火

